



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場会社名 オルガノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6368 URL <http://www.organo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内田 裕行

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 浜田 豪一

TEL 03-5635-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	30,223	17.5	2,071	130.5	1,986	164.5	1,063	190.0
23年3月期第2四半期	25,719	9.2	898	—	751	—	366	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,059百万円 (222.5%) 23年3月期第2四半期 328百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	18.46	—
23年3月期第2四半期	6.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	76,665	41,795	54.0
23年3月期	78,590	41,116	51.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 41,431百万円 23年3月期 40,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	9.7	4,000	13.2	3,800	12.5	2,100	13.0	36.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)
- | | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 24年3月期2Q | 57,949,627 株 | 23年3月期 | 57,949,627 株 |
| 24年3月期2Q | 327,556 株 | 23年3月期 | 323,898 株 |
| 24年3月期2Q | 57,624,324 株 | 23年3月期2Q | 57,636,170 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による厳しい状況のなか、サプライチェーンの立て直しなど景気持ち直しの動きがみられますが、欧州の金融不安、急激な円高などを背景に先行き不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、海外においてアジア地域の新興国での経済成長に若干の減速がみられる一方、国内においては震災の復旧などにより設備投資及び生産活動の持ち直しの動きがみられました。

このような状況のもと、当社グループは震災の復旧に対応するとともに、産業全般・海外分野での営業体制を強化し、一層のコストダウンによる収益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は受注高37,652百万円（前年同期比14.9%増）、売上高30,223百万円（同17.5%増）、営業利益2,071百万円（同130.5%増）、経常利益1,986百万円（同164.5%増）、四半期純利益1,063百万円（同190.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[水処理エンジニアリング事業]

当事業においては、アジア地域の新興国だけでなく、震災の復旧対応も含め産業全般での受注が増加し、メンテナンスや改造工事などのソリューションビジネスを中心に電子産業分野及び一般産業分野での売上が増加した結果、受注高27,672百万円（前年同期比21.0%増）、売上高20,723百万円（同30.9%増）、営業利益1,315百万円（同1,200.8%増）となりました。

[機能商品事業]

当事業においては、震災や節電対応などの影響を受けた生産活動が持ち直し傾向にある中、受注は前年同期並みを確保したものの、一時的な顧客工場の操業度低下などにより売上が低調に推移した結果、受注高9,979百万円（前年同期比0.8%増）、売上高9,499百万円（同3.9%減）、営業利益755百万円（同5.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,925百万円減少し、76,665百万円になりました。これは主に、現金及び預金5,415百万円の減少、リース投資資産3,024百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2,603百万円減少し、34,870百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金796百万円、借入金781百万円及び未払法人税等342百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ678百万円増加し、41,795百万円になりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金717百万円の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4,837百万円減少し、8,538百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動によって支出された資金は、4,353百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,959百万円及び売上債権の減少1,626百万円による資金の増加に対し、仕入債務の減少1,365百万円、リース投資資産の増加3,024百万円及びたな卸資産の増加1,256百万円による資金の減少があったことによるものであります。（前第2四半期連結累計期間は2,712百万円の収入）

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動によって得られた資金は、524百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入586百万円及び土地譲渡契約に伴う手付金等収入1,065百万円の資金の増加に対し、有形固定資産の取得による支出850百万円及び貸付けによる支出965百万円の資金の減少があったことによるものであります。（前第2四半期連結累計期間は39百万円の収入）

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動によって支出された資金は、1,035百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出802百万円及び配当金の支払345百万円によるものであります。（前第2四半期連結累計期間は218百万円の支出）

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は比較的順調に推移したものの、欧州の金融不安、急激な円高、タイにおける洪水被害などを背景に、景気の先行きに不透明感が強く、設備投資や生産活動の動向は楽観できない状況であることから、平成23年5月12日発表の従来を通期業績予想は変更していません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,126	8,710
受取手形及び売掛金	24,387	22,390
リース投資資産	2,619	5,643
商品及び製品	2,786	3,843
仕掛品	5,797	5,898
原材料及び貯蔵品	812	921
繰延税金資産	1,062	1,068
その他	1,028	2,071
貸倒引当金	△68	△39
流動資産合計	52,550	50,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,959	19,163
減価償却累計額	△10,870	△11,124
建物及び構築物（純額）	8,089	8,039
機械装置及び運搬具	4,739	4,875
減価償却累計額	△3,917	△4,003
機械装置及び運搬具（純額）	822	872
土地	12,335	12,335
建設仮勘定	902	968
その他	3,612	3,758
減価償却累計額	△3,026	△3,122
その他（純額）	585	635
有形固定資産合計	22,734	22,850
無形固定資産	369	343
投資その他の資産		
投資有価証券	868	728
繰延税金資産	1,785	1,820
その他	393	589
貸倒引当金	△111	△175
投資その他の資産合計	2,935	2,962
固定資産合計	26,039	26,156
資産合計	78,590	76,665

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,922	14,125
短期借入金	7,933	7,902
未払法人税等	1,079	736
前受金	1,492	2,184
繰延税金負債	2	2
賞与引当金	888	853
製品保証引当金	303	184
工事損失引当金	481	244
災害損失引当金	131	59
その他	2,594	1,780
流動負債合計	29,827	28,075
固定負債		
長期借入金	3,454	2,704
繰延税金負債	3	1
退職給付引当金	4,071	3,995
その他	117	94
固定負債合計	7,646	6,794
負債合計	37,474	34,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	25,516	26,234
自己株式	△317	△319
株主資本合計	40,932	41,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	55
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	△293	△270
その他の包括利益累計額合計	△184	△217
少数株主持分	368	364
純資産合計	41,116	41,795
負債純資産合計	78,590	76,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	25,719	30,223
売上原価	18,762	21,682
売上総利益	6,957	8,540
販売費及び一般管理費	6,058	6,469
営業利益	898	2,071
営業外収益		
受取利息	14	17
受取配当金	13	19
固定資産賃貸料	17	16
その他	28	29
営業外収益合計	73	82
営業外費用		
支払利息	85	63
為替差損	59	26
持分法による投資損失	52	54
その他	23	22
営業外費用合計	221	166
経常利益	751	1,986
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7
貸倒引当金戻入額	29	—
その他	0	1
特別利益合計	29	8
特別損失		
固定資産廃棄損	19	2
投資有価証券評価損	9	—
貸倒引当金繰入額	—	32
その他	1	—
特別損失合計	31	35
税金等調整前四半期純利益	749	1,959
法人税等	368	871
少数株主損益調整前四半期純利益	381	1,088
少数株主利益	14	24
四半期純利益	366	1,063

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	381	1,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	△52
繰延ヘッジ損益	△2	△2
為替換算調整勘定	13	27
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△52	△28
四半期包括利益	328	1,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310	1,030
少数株主に係る四半期包括利益	17	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	749	1,959
減価償却費	592	562
引当金の増減額 (△は減少)	205	△495
受取利息及び受取配当金	△27	△36
支払利息	85	63
為替差損益 (△は益)	41	2
持分法による投資損益 (△は益)	52	54
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△7
投資有価証券評価損益 (△は益)	9	—
固定資産廃棄損	19	2
売上債権の増減額 (△は増加)	3,081	1,626
リース投資資産の増減額 (△は増加)	78	△3,024
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,596	△1,256
仕入債務の増減額 (△は減少)	894	△1,365
その他	58	△1,200
小計	3,245	△3,114
利息及び配当金の受取額	27	36
利息の支払額	△74	△59
法人税等の支払額	△485	△1,215
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,712	△4,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	411	586
有形固定資産の取得による支出	△179	△850
無形固定資産の取得による支出	△45	△40
投資有価証券の取得による支出	△88	△4
投資有価証券の売却による収入	—	8
貸付けによる支出	△60	△965
貸付金の回収による収入	1	721
土地譲渡契約に伴う手付金等収入	—	1,065
その他	△0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	39	524
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△290	148
長期借入れによる収入	1,500	—
長期借入金の返済による支出	△1,194	△802
配当金の支払額	△230	△345
少数株主への配当金の支払額	—	△33
その他	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△218	△1,035
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,523	△4,837
現金及び現金同等物の期首残高	12,630	13,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,153	8,538

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	15,830	9,888	25,719	25,719
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	15,830	9,888	25,719	25,719
セグメント利益	101	797	898	898

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	20,723	9,499	30,223	30,223
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	20,723	9,499	30,223	30,223
セグメント利益	1,315	755	2,071	2,071

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。